

## 1 教育目標

豊かな心をもち、主体的に生きる子どもの育成

めざす子ども像

- (1) 進んで学習する子
- (2) 助け合う子
- (3) 元気に遊ぶ子

## 2 本年度の努力点

### (1) 学習指導の充実

- ① 児童が主体となる指導方法の工夫を行い、児童の学習意欲を高める。
- ② ICTを活用した学習活動の質の向上を図る。
- ③ 学習習慣の定着を目指し、家庭学習の充実を図る。
- ④ 読書活動の充実を図る。
- ⑤ 教育的力量を高めるため、現職教育の充実を図る。

### (2) 道徳教育の推進

- ① 道徳教育全体計画・年間指導計画に基づいた実践を推進するとともに、児童の発達段階に応じた教材を活用する。
- ② 全教育活動を通じて道徳性を養うとともに、体験活動の充実に努め、道徳的実践力を育てる。

### (3) 人権教育の推進

- ① 人権尊重の考えに立ち、互いのよさを認め合える人間関係を育てる。
- ② 保護者や地域への啓発と連携を進め、全教育活動を通じて、確かな人権意識を育てる。
- ③ コミュニケーション能力を高め、人権を守る力を培う。

### (4) 特別支援教育の推進

- ① 特別支援を要する児童一人一人のニーズを全教職員が把握し、適切な指導・支援に努める。
- ② 特別支援教育に対する教職員の理解と認識を一層深める。
- ③ 特別支援教育の視点を取り入れた学級経営や授業改善を行うとともに、学校全体としての支援体制の整備・充実を図る。

### (5) 生徒指導の充実

- ① 児童の生活実態を明らかにし、きまりある生活態度や基本的な生活習慣を身に付けさせ、自律する力を育てる。
- ② 生き生きとした子ども集団を形成させるために、自主活動の充実に努める。
- ③ 児童一人一人について理解を深めるよう努める。特に配慮を要する児童については、常に情報交換を行い、担任を中心に全教職員が共通認識のもと指導にあたる。

### (6) 体育・健康教育の推進

- ① 学校の教育活動全体を通じて、食育、体力の向上に関する指導、安全に関する指導及び心身の健康の保持増進に関する指導に努める。
- ② 感染症をはじめとする病気についての理解を深め、正しい認識を育む。
- ③ 健康について意識の高揚を図るとともに実践力の向上に努める。
- ④ 新体力テストの結果を踏まえながら、体育指導の充実を図る。

## (7) 安全・防災教育の推進

- ① 各教科、特別活動、総合的な学習の時間を活用し、学校安全計画のもと組織的・系統的な指導に努める。
- ② 地震・津波、洪水の災害に対応するための防災教育を計画的に行い、地域や関係機関等と連携し、防災意識や実践力の向上を図る。
- ③ 施設・設備の安全点検を実施し、事故の防止に努める。

## (8) キャリア教育の推進

- ① 特別活動を中心にして、各教科等の特質に応じ、児童に学校で学ぶことと社会との接続意識を高める。
- ② 児童の発達の段階に応じた活動を設定し、身のまわりの仕事や環境への関心・意欲を高める。
- ③ 勤労を重んじ目標に向かって努力する態度を養う。

## (9) ふるさと・国際理解教育の推進

- ① 我が国の伝統と文化及び諸外国の文化に対する関心や理解を深め、尊重する態度を養う。
- ② 地域の教育資源や人材等を活用した学習活動を通して、地域に対する理解と愛情を育む。

## 3 教育計画の裏付けとなる条件

本校は有田市の西北部に位置している。昔は西に遠浅の砂浜と松林、東には日当たりのよい山が広がるという自然を利用し、地域の人々の多くは農業や漁業に従事していた。1961年から海岸の埋立が開始され、校区内の石油精製会社や関連会社に勤める人の定住等、経済成長に伴う人口増加が見られた。しかし、現在は社会情勢の変化により、人口は減少傾向にあり、保護者の職業は様々になってきている。

保護者をはじめ地域住民の教育に対する関心は高く、学校教育には大変協力的である。年に3回行われる育成会主催のリサイクル活動では、地域全体が協力を惜しまず「子どもたちのために」という熱い思いが感じられる。地域住民の多くは、児童の健やかな成長が地域の発展につながることを願っている。

児童は、全般的に明るく活動的である。また、思いやりを持って人に接することができる児童が多い。授業態度は、全体的に落ち着いていて、何事にも真面目に取り組むことができている。さらには、休憩時間や掃除の時間に5分前行動ができるなど、自律的に学校生活を送ることができている。

しかし、児童を個々にみると、発達に課題を持っていたり、学習面で困難を抱えていたりする児童が少なからず在籍している。また、コミュニケーション能力の未熟さから、良好な人間関係を築くことが苦手で、悩みを抱えていたり、トラブルを起こしたりしがちな児童もいる。

学習面においては、全国学力・学習状況調査の結果から、領域別では、「書くこと」や本校の課題であった「読むこと」においても、全国や県平均を上回ることができた。しかし、「話すこと・聞くこと」においては、全国や県平均より下回っている。特に、目的に応じ、文章と図表とを結びつけて必要な情報を見つけることや目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することなどに課題のあることがわかった。これらの課題を解決していくためにも、授業改善が欠かせない。

以上のような現状を正しく把握し、保護者や地域の人々の願いを教育に反映させるとともに、学校の考え方や教育実践を保護者や地域の人々に理解してもらい、児童のよりよい成長をめざしていきたい。